

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 129 事業名 粗大ごみ収集運搬事業

[事業基本情報]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	4	循環型社会の形成
取組	2	一般廃棄物の適正処理

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		清掃費
	目		塵芥処理事業費
	大事業		塵芥処理事業
	事項		粗大ごみ収集運搬事業

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	H19	～
関連個別計画	一般廃棄物処理基本計画	
担当課・担当課長 (Tel)	一般廃棄物課	和田 年晃 (435-1352)
関連課	青岸清掃センター	

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	市民に対し粗大ごみの適正処理を行う。	市民が不要となった粗大ごみについて、青岸エネルギーセンター内にある粗大ごみ受付センターに電話で申し込み、収集日を決定した後、市から委託を受けた業者が回収を行う。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		粗大ごみの収集受付件数 34,352件 粗大ごみの収集トン数 1,926トン 動物死体の収集受付数 3,555件 粗大ごみ日曜搬入の受付件数 2,248件	粗大ごみの収集受付件数 35,392件 粗大ごみの収集トン数 1,904トン 動物死体の収集受付数 3,484件 粗大ごみ日曜搬入の受付件数 2,230件	粗大ごみの収集受付件数 37,570件 粗大ごみの収集トン数 2,079トン 動物死体の収集受付数 3,497件 粗大ごみ日曜搬入の受付件数 2,279件		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	48,416	43,524	49,052	45,804	42,349	42,349	42,336			
	伸び率 (%)	-	-	1.3%		-13.7%		0.0%			-100.0%
	人件費	常勤職員	6,129	11,235	6,129	7,909	7,909	2,126	2,126		
		非常勤職員	8,488	6,674		162	162	202	202		
		小計	14,617	17,909	6,129	8,071	8,071	2,328	2,328		
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源 (税等)	48,416	43,524	49,052	45,804	42,349	42,349	42,336				
所要人数	常勤職員	0.8	1.47	1.47	1.05	1.05	0.28	0.28			
	非常勤職員	3.82	3.93	0.16	0.06	0.06	0.08	0.08			

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	受付件数	年度目標値								
		実績値			34,352	35,392	37,570			
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
			年度目標値		年度実績値					
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
年度目標値			年度実績値							
成果指標	適正処理率				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	年度目標値			100	100	100				
	実績値			100	100	100				
	単位		%	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度		
	年度目標値			年度実績値		100.0%				
	収集量				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
年度目標値										
実績値			1926	1904	2079					
単位		トン	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
年度目標値			年度実績値							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	現時点では委託業者に対する苦情がほとんどなく、収集時間についても、年末及び引越シーズン等の特定の繁忙期を除くと、遅滞なく行えているため。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	粗大ごみの中にはまだまだ使用可能なものも多く含まれている。更なるリサイクル、リユースの啓発に努める必要がある。